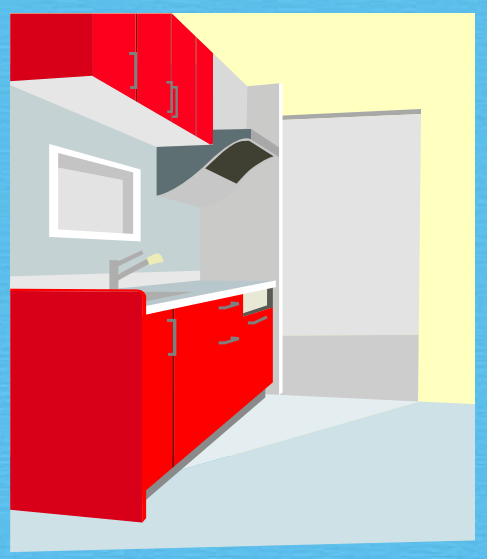
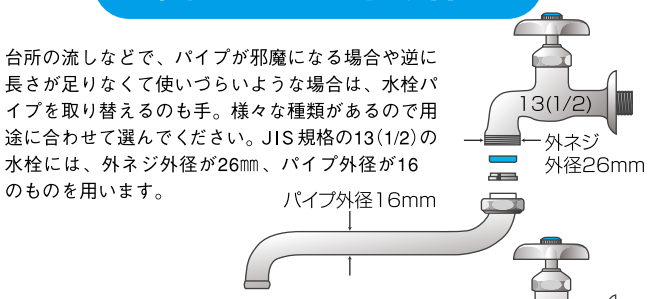
# 家のお手入れ



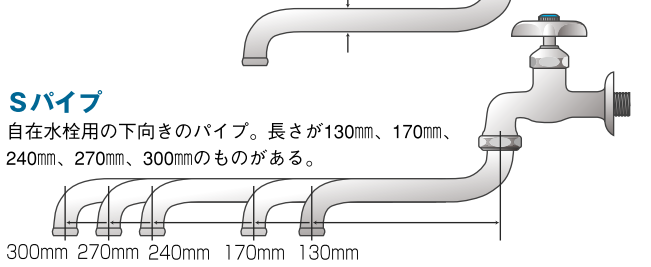
## 水栓パイプの取り替え

台所の流しなどで、パイプが邪魔になる場合や逆に長さが足りなくて使いづらいような場合は、水栓パイプを取り替えるのも手。様々な種類があるので用途に合わせて選んでください。JIS規格の13(1/2)の水栓には、外ネジ外径が26㎜、パイプ外径が16のものを用います。



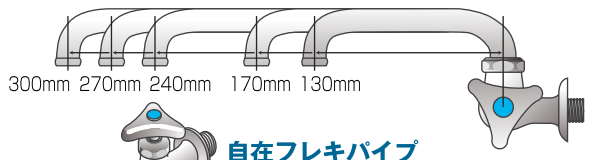

### Sパイプ

自在水栓用の下向きのパイプ。長さが130㎜、170㎜、240㎜、270㎜、300㎜のものがある。



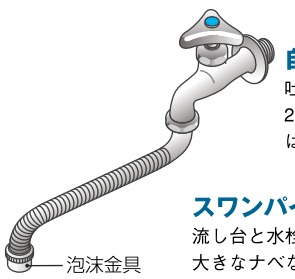

### Uパイプ

横形自在水栓用の上向きのパイプ。Sパイプと同様130㎜、170㎜、240㎜、270㎜、300㎜の長さがある。



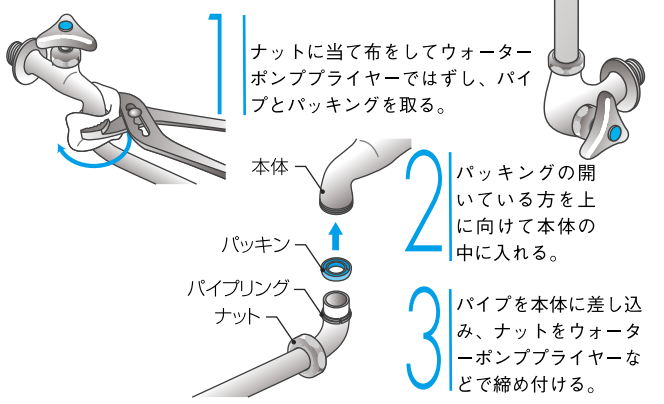

### 自在フレキパイプ

吐水位置を自在に変えたい場所に。長さは240㎜、300㎜、400㎜のものがあり、先には泡沫金具がついている。




### スワンパイプ

流し台と水栓の空間が狭く、大きなナベなどが洗いづらいような場合に便利。



1 ナットに当て布をしてウォーターポンププライヤーではずし、パイプとパッキングを取る。

2 パッキングの開いている方を上に向けて本体の中に入れる。

3 パイプを本体に差し込み、ナットをウォーターポンププライヤーなどで締め付ける。



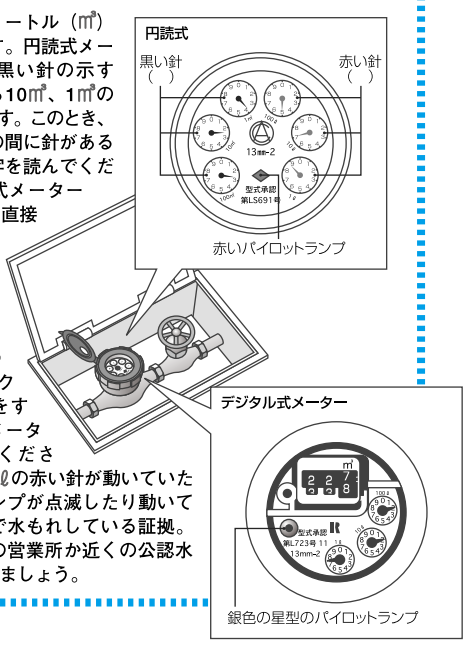
# 水栓金具の交換

## One Point Advice

### 水道メーターの読み方と水もれチェック法

水道料金は立法メートル（㎥）単位で表されます。円読式メーターの場合は、黒い針の示す数字を100㎥から10㎥、1㎥の順に読んでいきます。このとき、目盛りと目盛りの間に針がある場合は少ない数字を読んでください。デジタル式メーターであれば、数字を直接読めばOKです。

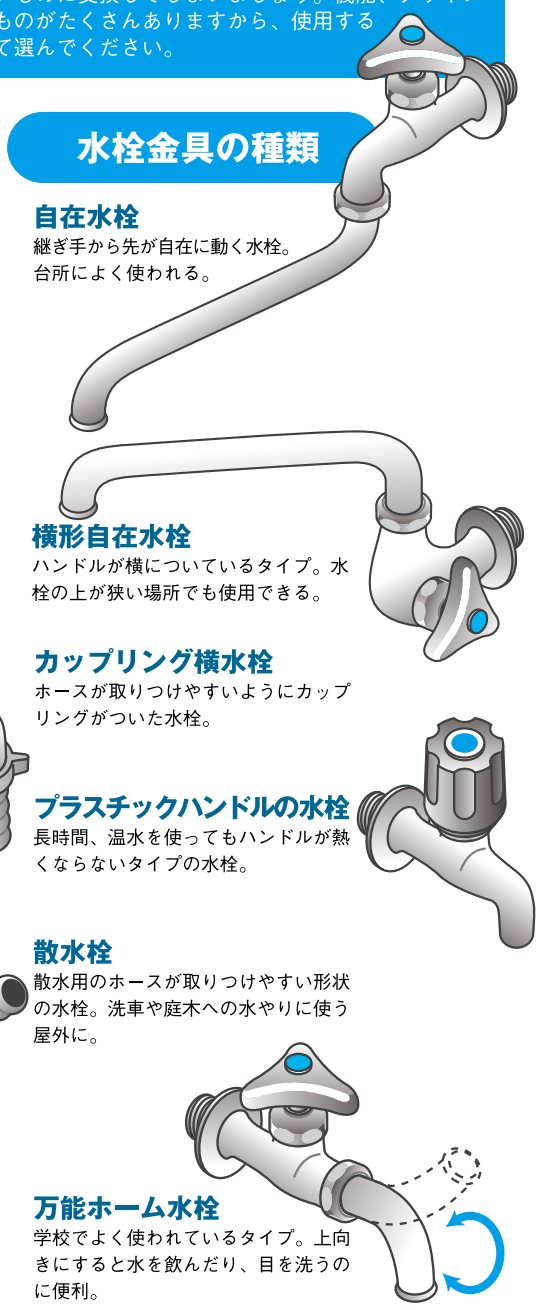
また、水道料金が急に増えたりした場合は、水もれの可能性があるのですぐにチェックを。家中の水栓をすべて閉めて水道メーターを調べてみてください。その状態で1ℓの赤い針が動いていたりパイロットランプが点滅したり動いていたら、どこかで水もれしている証拠。すぐに受け持ちの営業所か近くの公認水道工事店に連絡しましょう。




## 水栓金具の交換

パッキングさえ交換すれば半永久的に使える水栓金具も、長く使っているうちにサビが出たり、メッキがはがれたりします。そんなときは新しいものに交換してしまいましょう。機能、デザインともに優れたものがたくさんありますから、使用する場所に合わせて選んでください。

## 水栓金具の種類



### 自在水栓

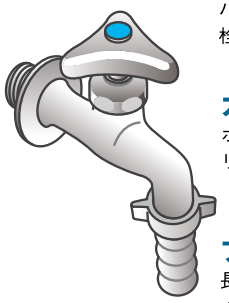
継ぎ手から先が自在に動く水栓。台所によく使われる。

### 横形自在水栓

ハンドルが横についているタイプ。水栓の上が狭い場所でも使用できる。

### カップリング横水栓

ホースが取りつけやすいようにカップリングがついた水栓。



### プラスチックハンドルの水栓

長時間、温水を使ってもハンドルが熱くならないタイプの水栓。



### 散水栓

散水用のホースが取りつけやすい形状の水栓。洗車や庭木への水やりに使う屋外に。

### 万能ホーム水栓

学校でよく使われているタイプ。上向きにすると水を飲んだり、目を洗うのに便利。



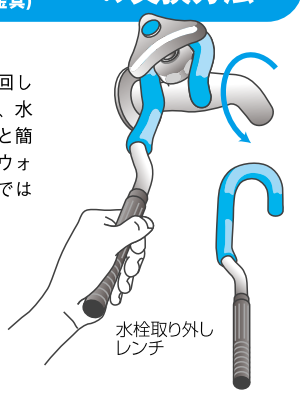
## 作業の前に

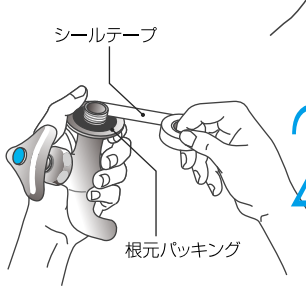
水栓金具を交換する場合は、必ず止水栓を締めてから行いましょう。止水栓はほとんど水道メーターの付近にあります。洗面台の水栓を交換する場合は、洗面台の下の止水栓をとめるだけでＯＫ。詳しくは『No.13 水道蛇口の水もれを直す』をご覧ください。

なお、水栓のサイズは取り付けネジの大きさで決まっていて、ほとんどの一般家庭にはＪＩＳ規格の13(1/2)が使われています。

## 水栓金具（壁面に取り付けられている水栓金具）の交換方法

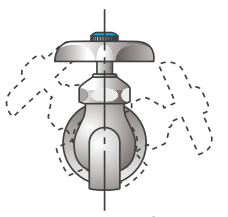
1 古い水栓金具を左方向に回してとりはずす。このとき、水栓取り外しレンチを使うと簡単にはずれる。あるいはウォーターポンププライヤーではさんで回してもよい。



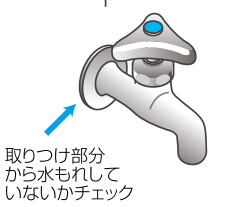




2 新しい水栓金具に根元パッキングを差し込んでから、シールテープを右まわりに軽く引っ張りながらネジにくいこむように４～５回巻く。巻きすぎるとねじ込めなくなったり、よれてしまって水もれの原因になるので注意。

3 水栓金具を右にまわして水道管にねじこむ。このとき、きっちりねじこんだ際に水栓金具が垂直になるのがポイント。斜めになった場合は、一度取りはずしてシールテープを増減して垂直になるように調節する。

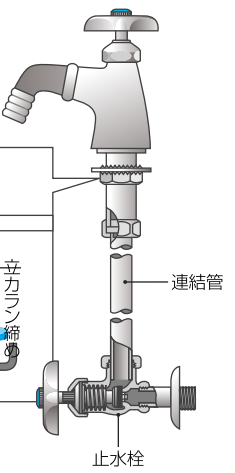


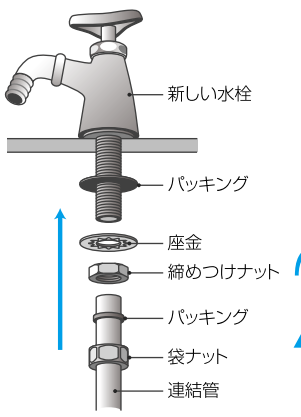
4 止水栓を開けて、水もれがないか点検する。水栓の根元部分から水もれしている場合は、もう一度、水栓金具をはずしてシールテープを巻き直してからねじこむ。




## 立水栓金具（洗面台に取り付けられている水栓金具）の交換方法

1 給水管を止めている袋ナットを左に回してはずしてから、水栓本体を止めている締め付けナットを同様にしてはずす。このとき、作業する場所が狭くてプランターや工具が使えない場合は「立カラン締め（ナット締め付け用スパナ）」を用いる。立てカラン締めは、下の穴に付属の六角レンチを差して、それを回して開け閉めするようになっている。



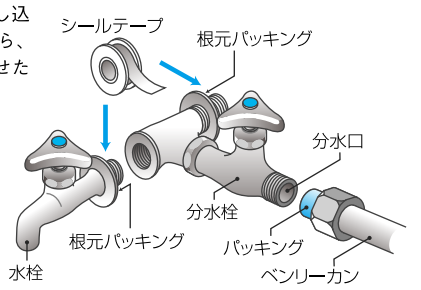




2 ナットがはずれたらこれまで使っていた水栓を上に抜いてはずし、新しい水栓金具と交換する。はずしたときと逆の手順で組み立て直せば完了だが、その際、パッキングは必ず新しいものと交換すること。

## 分水栓の取り付け方

給湯器や洗濯機用にもうひとつ水栓がほしいという時に便利なのが分水栓。ハンドル部分に取り付ける分水用水栓や、洗面台などの止水栓の上に取り付けるアングル分岐栓など数種類あるので、用途に合わせて選びましょう。ここで紹介する分水栓は横水栓とほぼ同じ方法で取り付けられます。

1 止水栓を閉めてから、現在使っている水栓金具をはずす。

2 分水栓の根元部分に根元パッキングを差し込み、シールテープを４～５回巻きつけてから、右に回してねじ込む。このとき、分水させたい方向に分水口が向くようにする。

3 ベンリーカンなどで分岐水栓と洗濯機などをつなぐ。もう一方には、根元パッキングをつけてシールテープを巻いた水栓金具（これまで使っていたものでも可）をねじ込む。